JAPAN SOHO TIMES

SOHOプロモーションズ発行 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17 SOHOプラザA-101（三鷹SOHO倶楽部内）
tel: 0422-50-0230 fax: 0422-50-0232 jst@c-soho.com http://c-soho.com

東京セブレ TOKYO MITAKA
（有）そーほっと www.m-sohot.com/sebre

新しいSOHOスタイルを紹介する季刊誌 創刊準備号 ~~定価50円~~ キャンペーン0円

世界最速毎分120枚

RISO

ビジネスのスピードアップへ
ハイスピードカラープリンタ

ORPHIS オルフィス HC5500

理想科学工業株式会社 理想三鷹支店
〒181-0013 三鷹市下連雀4-16-12-3F
tel: 0422-24-0567 fax: 0422-24-0568
http://www.riso.co.jp/

第 10 回 SOHO フェスタのテーマは Wing
時代の風を読みつつ、さらに大きく翼を広げよう!

去る 2007 年 11 月 16 日（金）、17 日（土）の両日、三鷹産業プラザ 7 階特設会場にて、第 10 回 SOHO フェスタ in MITAKA（主催:（株）まちづくり三鷹、三鷹市、三鷹商工会）が開催された。三鷹市の清原慶子市長は、会場で展示を見ながら出展者たちと語らった後、開会の挨拶では、「SOHO CITY みたか」を一緒に盛り上げてきた人たちをねぎらった。16 日は日差しもあり暖かく来場者の出足も好調。しかし、17 日はこの冬初の木枯らしが吹く寒さとなったが、両日で 800 人を超える来場者があり、関係者は胸をなでおろしていた。

記念すべき 10 回目となる今回は SOHO AWARDS 2007 の表彰式も併催された。講演や対談、パネルディスカッション、ビジネスプランコンテストと内容も充実しており、これまでの蓄積を思わせるイベントとなった。

●フェスタ会場の様子

人生の楽しみはこれからだ
講演「50歳からの人生再設計入門」

人間は、年を重ねても新しいアイディアを生み出す能力があること、人間は努力する限り迷うものなので、とにかくまず動いて、時々立ち止まって見直せばいい。日常生活の中からニーズは湧出する、などと語る講師の向井恒夫氏に、深くうなずく聴衆の姿が多かった。

「50 歳に限らずこれからの生き方はまずペースを決めることが原則」という話から向井氏の講演が始まった。「向上心が薄れたらその時がリタイアの時」「自分の意外な本質を知っているのは古い友人である」「同じ仕事ではなく関連する仲間作りは大事」など、経験から導き出された様々な知恵を語ってくれた。

そして、本人の過去を振り返りながら、起業には SOHO や営利を追求しない NPO、そして向井氏が今名乗っているインデペンデント・コントラクター（独立業務請負人）など、様々なやり方があることを説明していった。インデペンデント・コントラクターとは、期限付きで専門性の高い仕事を業務単位で請負契約

●熱弁を振るう講師の向井氏

を結び、複数の企業と共に活動する形態のことをいう。アメリカでは 4 人以下の企業 2,000 万社に対し、インデペンデント・コントラクターは 900 万人いると言われている。向井氏は現在 6 種類の名刺をもって活躍中である。

講師の向井氏は、大手生命保険会社を退職後、「シニア SOHO 普及サロン・三鷹」の立ち上げに参画。その後、2002 年に「キャリア設計M 21」を設立。現在、キャリアカウンセラーとして、またインデペンデント・コントラクターとして活動し、今後はコミュニティ・カウンセラーとしての活動も加える予定。

質問タイムでは、シニア SOHO の活動や現在向井氏が手がけているコミュニティ・カウンセラー、都立学校でのキャリア教育の実際など、活発な質問が相次いだ。

この講演会は、朝日新聞に掲載されたことも手伝ってか、聴衆の入りは上々。年老いてもアイディアを生み出す力は 20 代と同じ、という向井氏の話に参加していた多くのシニア世代が首肯していた。

NHK も取材 ～ SOHO・企業展示

16 日には NHK が MIURATECH を取材し、その日の夕方の NHK ニュースで放送された。フェスタ会場も映っており、出展者や来場者の表情が TV 画面にも生き生きと映っていた。

鷹ロコ・ネットワーク大楽では、「かぼす」キャラクターの着ぐるみを用意。会場を巡回し、ツーショットの記念撮影に応じるなどフェスタを盛り上げてくれた。

今回は、専門性の高いコンピュータシステムやソフトウェア、Web デザイン、中国へのビジネスアウトソーシングなど IT 系の展示だけでなく、旅行プランやホームステイ紹介、環境保全、地域に密着したオリジナルのお菓子、ステレオやコンサート、テディベア、バラの切り花という趣味性の高いものまで、幅の広い商品やサービスが勢ぞろい。SOHO・企業、そして各地の SOHO 団体の招待展示と、合計 43 団体が参加した。

また、ポスターやパンフレット、Web ページを飾ったテーマデザイン用のブースも設けられ、受賞作を含め全応募作品 185 点も展示された。

●会場を盛り上げてくれたかぼすの着ぐるみ

SOHO・企業展示出展者リスト

有限会社創造デザイン
Ｔ＆Ｅ ワールド株式会社
マザーランド
万華鏡の華麗堂
有限会社インフォメーションマネージメントコンサルティング
メディカルシステム・ナガイ
NPO 法人シニア SOHO 普及サロン・三鷹
株式会社 ABYZs
株式会社ジェーシー・プリマ
多摩おんがく堂
三鷹 ICT 事業者協会
アプリケーションプラス株式会社
有限会社そーほっと
LLP ビアン エートル
スモールウェーブ
アイポイント
ウッド　アンド　リーブ
株式会社アールワン・プロフェッショナル
グローウィン有限会社
ＫＮＣ
株式会社セルネッツ
有限会社 MIURA TECH
NPO 法人鷹ロコ・ネットワーク大楽
コンサートタイム
多摩信用金庫
国民生活金融公庫三鷹支店
株式会社キャリア・マム
ブラザー販売株式会社
理想科学工業株式会社 理想三鷹支店
ビジネススクエア多摩
調布市産業振興センター
有限会社 SOHO 総研
しまね SOHO 協議会
フナハシ・ドットコム
三鷹市市民協働センター
日本 SOHO センター
三鷹 SOHO 倶楽部
アドリブ
おとうさんのバラ
スパイラルイノベーション株式会社
三鷹市
三鷹商工会
株式会社まちづくり三鷹

レンタル オフィス スペース 入居予約受付中！
SOHOプラザA
三鷹駅から徒歩約6分／月々の賃料1万9,800円～／礼金・敷金不要&共益費込
最新情報はホームページで 契約状況、予約状況等も確認できます！ http://www.msoho.net/
企画運営 三鷹SOHO倶楽部 SOHOプラザチーム 事業主：有限会社ビッツ アンド カンパニー
お問い合わせ SOHOプラザ事務局 受付時間：午前10時～午後5時、土日・祝祭日は休み
0422-50-0230／plaza@msoho.net
協力：SOHO CITY みたか推進協議会、株式会社まちづくり三鷹、小田急バス株式会社、有限会社そーほっと、理想科学工業株式会社理想三鷹支店、

ヒントをつかめ！ セミナーや経営相談も同時開催

展示会場の近くに設けられたコーナーでは、三鷹商工会による「販売マーケティングなんでも相談会」が行わた。

また、同ビル地下１階のコミュニティビジネスサロンでは、17 日に「身の丈起業のすすめ」をテーマにセミナーが開催された。講師の前田隆正氏（同サロンスーパーバイザー）は、2006 年 10 月に光文社から発行された“「身の丈起業」塾”の著者でもある。

模様替えに成功 SOHOプレゼンテーション

昨年は壇上で行われ今ひとつだったSOHO プレゼンテーション。今回は、スタッフがマイクを持って各社の展示ブースを周る方式に変更された。

壇上で行った時はブースを離れられなかったり、気恥ずかしさもあってかプレゼンテーションの数は少なかったが、ブース前でマイクを向けると多くの出展者が商品やサービスの PR を行っていた。和やかな雰囲気の中で、マイクは会場内を周っていた。

●プレゼンをするスモールウェーブの高森氏

「多摩おんがく堂」が2連覇！ ベスト SOHO 展示

前回から始まった来場者の投票によるベスト展示賞。来場者アンケートをもとに、ベスト SOHO 展示３社が選ばれた。

今回選出されたのはゴルフパット上達の秘密兵器を製造販売する ABYZs、Web ページおよびシステム制作のスモールウェーブ、そして高音質ステレオスピーカーを展示した多摩おんがく堂は堂々の２連覇。同ブースには「ビル・ゲイツもびっくり」という POP が貼ってあったが、これには代表の小野氏が一番びっくりしていた。

●２連覇となった多摩おんがく堂の小野氏（左）

今、オープンソースが熱い 対談「オープンソースと未来事業」

17 日のビジネス対談には、「SOHO CITY みたか」の仕掛け人の一人で、現在、ユビキタスコミュニティを推進する三鷹市企画部情報推進室長の宇山正幸氏と、オープンソースの普及に力を入れているアイビー・ウィー代表取締役の今駒哲子氏の二人が登壇した。

宇山氏からは、三鷹がなぜ SOHO 支援にいち早く取り組んできたのか、そしてどのようなコミュニティを目指すのかについて説明があり、今駒氏からは

●対談をする宇山氏（右）と今駒氏（左）

SOHO として起業した経緯とその活動の中で SOHO に非常に利便性の高いオープンソースとの出会いが語られた。

現在、世界中の開発者によるボランティア力が結集した結果、実用レベルのオープンソースが増えて来た。中には、既存のアプリケーション以上に便利なシステムまである。しかし、オープンソースの更なる発展のためには、良質なオープンソースに投資する必要があると今駒氏は言う。宇山氏は行政担当者として感じるオープンソースへの魅力と不安、そして現在、三鷹市が取り組んでいるオープンソース「Ruby」によるシステム開発と導入の試みの話があった。

オープンソースの推進者と行政担当者が率直に語り合う機会は多くない。今回の対談が、SOHO や開発者の関心や問題意識となり、オープンソースがさらに広がる契機となることを期待したい。

パネルディスカッション 「会社を辞めたら社長になろう」

前回大好評だった「会社を辞めたら社長になろう」の第２弾。パネリストは、スモールウェーブ代表の中川原一彦氏とそーほっと代表取締役の森下ことみ氏で、コーディネーターは三鷹ＳＯＨＯ倶

無料ビジネス・経営相談をご利用ください
http://www.mitaka.ne.jp/
起業の心構えと準備/小規模企業の戦略的マーケティングの立案など
まちづくり三鷹専属SOHOコーディネーター
弁護士/税理士/司法書士/中小企業診断士などの専門家による
三鷹経営コンサルタント協会相談員
精密測定技術指導/工業技術の分野における問題について
産業技術アドバイザー
各分野の専門家が、ビジネスに関わる全ての問題に丁寧にアドバイスします
問合せ申込み　株式会社まちづくり三鷹　TEL. 0422(40)9669　平日9:00～18:00 土日9:00～17:00

楽部代表の河瀬謙一氏が務めた。

お客様の本当にやりたいことを丁寧に聞き出し、それを実現できるよう心を砕いていると中川原氏は語り、森下氏は、「お客様を不安にさせない、困らせない」ことを第一に、持ち込まれるバラエティ豊かな仕事に対処していると語る。

中川原氏はロジック設計やサーボ技術の技術者から一転し、お仕着せでないインターネット活用の実践をテーマに起業。森下氏は三鷹市 SOHO パイロットオフィス受付のパート勤務をするうちにサービスの面白さに目覚め、パート仲間と共に SOHO のサポートサービスを行う会社を立ち上げた。

ディスカッションは、森下氏の「会社を辞めたら社長になろう」というテーマに自分はそぐわないという話から始まった。10 年間の主婦生活の後に、たまたま始めた受付のパート勤務がきっかけで、会社を設立することになった。だから、そもそも会社に勤めていなかったので、辞めようがなかったと言う。一方の中川原氏は 55 歳で会社を辞めて起業。気楽に始めるために個人のまま起業し、現在も法人化はしていない。

対照的に思われる二人だが、話が進むにつれて似た部分が多く出てきた。二人とも人の繋がりで顧客を広げ、徹底して顧客が満足するように仕事をしている。色々な苦労をしながらも「起業してよかった。仕事が楽しい」ということで一致していた。

●パネリストの中川原氏（左）と森下氏（中央）、右はコーディネーターの河瀬氏

●前列はビジネスプランコンテストの受賞者、後列は審査委員

自分の持っているものを活かして、人に喜んでいただく。その基本さえ間違わなければ、自分に合った社長ライフを楽しめると講演は締め括られた。

今年も激しいバトルが展開 ビジネスプランコンテスト

16 日には、「SOHO CITY みたかビジネスプランコンテスト 2007」の最終審査会が行われた。今年もユニークなプランが揃い、審査員を大いに悩ませていた。

大賞を受賞したのは、カナミックネットワーク最高顧問の山本奨氏。受賞したプランは、地域連携を実現し在宅介護の質の向上を確保するための在宅介護支援ネットワークシステムである。現場ニーズに即した完成度の高いシステムであり、既に稼働している点が高く評価された。

コミュニティビジネス賞は、プチ富裕層のための高齢者ケアを提案したグレース・ケア機構の柳本文貴氏と、気軽に開催できるライブ型クラシックコンサートを提案したコンサートタイム代表の池田奈保子氏。

しんきん産業活性化賞は、都会の生活者の尽きぬ悩み「収納整理」のコンサルティングおよび代行サービスを提案した StudioHAGA 代表芳賀裕子氏。そして学生ベンチャー賞は、メイド関連情報を集めた世界初オタク系 SNS「オタバ」を提案した日本大学法学部 4 年生の永岡陽介氏が受賞した。

新たな視点をデザインする
アイポイント
www.e-ipoint.com
Web, Printing, SOHO...Designing, 0422-26-7910, info@e-ipoint.com

小さな穴から広がる素敵な花園
万華鏡の華麗堂
www.kaleidou.com

勝手に選んで勝手に表彰!?
SOHO AWARDS 2007 の授賞式が併催

17 日には、「SOHO AWARDS 2007」の授賞式が行われた。

開会の挨拶の後、まず発表されたのは、11 名の選考委員の個人的な思い入れがたっぷりの「選考委員賞」。各選考委員が商品やサービスのプレゼンターを務め、その後、各受賞者からのコメントがあった。三鷹 SOHO 倶楽部副代表の古川あづさ氏の推薦は、路上生活者の自立を進める「ビッグイシュー日本版」。オープンソースの「OpenPNE」と「Geeklog」も受賞。この受賞者である今駒氏は、メイン会場のビジネス対談「オープンソースと未来事業」の対談者でもあるため両会場を行ったり来たりしながらこなしていた。

金賞に輝いたのは、SOHO の間では人気が高い松下電器産業のノートパソコン「Let's note」。銀賞はこれも SOHO の間で活用度の高いデータ復旧センターの「データ便」と住友スリーエムの「Post-it」が受賞。銅賞は、長時間書いても疲れないぺんてるのボールペン「エルゴノミックス」、CD-ROM と取扱説明書を一緒に保存できるコクヨの「取扱説明書ファイル」、SOHO を絶望の縁から救う AOS テクノロジーズの「ファイナルデータ 2007 特別復元版」、外出先での機動力を大幅アップしてくれるヤフーの「Yahoo! 無線 LAN スポット」とウィルコムの「WILLCOM」が受賞した。

●JSC-日本SOHOセンター理事長の峯村創一氏と副理事長の吹田朝子氏が司会

第 6 回を迎えたみたか市民活動・NPO フォーラム
おかげさまで大盛況!

2007 年 11 月 17 日（土）、18 日（日）に第 6 回みたか市民活動・ＮＰＯフォーラムが、三鷹市市民協働センターで開催され、参加団体が 51 団体、来場者が 461 名と大盛況となった。

今回、初めて SOHO フェスタの会場に同センターのブースを設置。フェスタ会場で宣伝ができ、連携できたことが良かったと関係者は話す。

子育て支援団体を集めて展示やイベントを行った「！△◎うふふ村」には、小さな子供達が大勢集まり会場内で一番賑やか。焼きそば等の屋台や売店は、完売となり、盛況を博していた。

また、各参加団体が活動紹介をする 3 分間スピーチには、多くの来場者が耳を傾けており、市民活動や NPO 活動にとても興味を示していた。

以前は全く別のイベントだったが、SOHO フェスタと同時期に開催されているということもあり途中から、特別連携企画としてチラシやポスターにお互いの枠を設けPRしたり、出展するようになった。

●展示パネルを見ながら熱心に活動内容を聞いている来場者の姿も

あなたにしか出来ない会社がきっとある

８年にわたり三鷹で起業支援を行ってきた著者のアドバイスがいっぱい詰まった実用書。「会社を辞めたら社長になろう」を合言葉に、定年後に起業する人に向けて書かれているが、若い人の参考にもなるヒントが満載！

著者：前田隆正、発行：光文社、定価：1,300 円（税別）

「SOHOリレーフォーラム in あいち・にしおはず」開催
テーマは、SOHO が作る未来の職人像

今回のＳＯＨＯリレーフォーラムは、各団体の代表者ではなく、具体的にSOHO スタイルを実現している５名が登壇し、新しい時代の新しい事業形態としてのＳＯＨＯを語った。

多忙な中の調整で５名が集まったため、イベントの趣旨があいまいなままフォーラムが始まった。しかし、パネリスト達は既に事業を行っているせいか、ジャズセッションのようなパネルディスカッションを展開し会場を魅了した。

今回のパネルディスカッションのキーワードは４つあった。

第１のキーワードは「科学技術」だ。ＳＯＨＯというと科学技術を使う方で、新たな科学技術を生み出すのは大学や大手企業の研究機関と思われがちである。

研究そのものを事業としている小松氏は「科学のプロセスは結局のところビジネスのプロセスと一緒。特別なものではない」とビジネスにおける科学的手法そのものの価値を言い、各パネリストも異口同音にして「多くの企業はこれからこうした手法を求めている」ことを強調。５氏もそれぞれ、特許を持っていたり大学で教える立場にいたりと知を生み出す側に立っており、大手企業によって作られた価値の恩恵にあずかるのではなく、科学技術立国の牽引者としてのＳＯＨＯという姿が浮き彫りになった。

第２のキーワードは「時代における自己実現」。自己の夢や希望、そして社会に対して役立つスキルを身につける事が重要で、必ずしも、ＳＯＨＯや会社員という形態にこだわる必要はない。しかし、昨今の通信環境やワークスタイルの変化で、より自己実現しやすい形態がＳＯＨＯという方向に向いてきているという。

定年後起業した清水氏は「お客の方からそういう形態（ＳＯＨＯ）での仕事のやり方を求められ起業した」と経緯を語った。また西村氏も「働き方が多様になってきている。確固たる希望とスキルがあれば、潮目を上手に掴みサーフィンのように世の中を渡れる」と会場を鼓舞。また、デザイン系 SOHO の斉藤氏は「大きな自己実現だけではなく、そこに至る小さな目標もたくさん必要。僕は天気の良い日には布団を干せるような、ちゃんとした生活ができるＳＯＨＯを目指しています」と会場沸かせた。

●パネリストの植松氏（左）と小松氏（右）

第３のキーワードは「不戦敗」。自己実現に必要な夢や希望に対して、やらずして諦めてしまう風土の問題が多く指摘された。特に、宇宙開発ベンチャーの植松氏は「今の大人は、何事に対しても『どーせ無理』という。やってみなければ分からないから、誰もがどーせ無理と思う宇宙開発にチャレンジしている」と熱く語った。

また、西村氏も「僕も学生には『不戦敗』をするな、と常々言っている。試みなければ自己実現もないしスキルの向上もない」と、夢に対して挑戦する事の大切さを説いた。不戦敗をしない姿勢の大切さというのは、ほぼ全てのパネリストの共通認識だった。

ただ斉藤氏は「とは言え、希望もスキルも独り善がりではダメ。お客をちゃんと見ることは重要」と、近年の起業ブームの危うさも指摘した。

最後のキーワードは、「次世代への責任」である。ここに登壇した５名は、まさに新時代のＳＯＨＯとして、自らの希望や夢をかなえるべく全力投球し、ＳＯＨＯの一つの到達点を示している。しかしながら、５名はここがゴールではなく、次の世代に受け継ぐ一つのステージに過ぎないと言う。

西村氏は「僕達は先人の悪いと思うところを変え、優れたところを残していく必要がある。こうした営みを次世代に繋いでいくことが重要で、そのためには自信を持ってこうした生き方を示していく事が重要である」とまとめ、次世代のために、自信を持ってＳＯＨＯとして生きていくことの大切さを語り、閉幕した。

次回は、九州の筑後川地域での開催を予定している。今回のメッセージを受け、どのようなリレーフォーラムが繰り広げられるか、今から楽しみである。

記：舟橋正浩（フナバシ・ドットコム代表）

「SOHO が作る未来の職人像」
日程：2007 年 10 月 7 日
時間：16:00 ～ 17:30
場所：西尾劇場（愛知県西尾市）

コーディネーター：
西村訓弘氏　三重大学教授／元株式会社ジェネティックラボ代表取締役社長
パネリスト：
清水次幸氏　ディクル工房代表
植松　努氏　株式会社カムイスペースワークス代表取締役社長
斉藤憲仁氏　アイポイント代表
小松　正氏　独立系研究者

SOHO商品・サービス最前線

SOHO Press Release

新広島みやげ「黒もみじ」登場

「モノづくりプロジェクト」チームＳＯ＠Ｒ（ソアラ）（牛来千鶴代表／(有)SOHO総研）が企画提案した竹炭入りもみじ饅頭「黒もみじ」が（株）やまだ屋から発売された。ミネラル豊富で代謝を促進する竹炭パウダー入りの黒くて健康志向の新しい広島土産。やまだ屋ウェブショップでも購入できる。

問）http://www.momiji-yamadaya.co.jp/webshop/

自社動画サイトを簡単に構築できるサービスを開始

（株）トゥエンティ・フォー・ストリーム（野島晋二代表）は、動画サイト構築パックをこの春に発売する。特長は、動画の効率的な管理、低コスト、動画配信の高品質化と安定性などがあげられる。同社では、同サービスの企画提案も行う予定。

問）http://www.24stream.co.jp/

理想三鷹支店展示会を開催

2008年2月14日（木）、10時～18時に三鷹産業プラザの7階で理想科学工業（株）三鷹支店の展示会が行われる。当日は、バレンタインということもあり、来場者全員にチョコレートをプレゼント。その他、先着10名で魚沼産コシヒカリ10kgや希望者には同社ビジネス高速カラープリンターによるテストプリント（1,000枚）が可能。

問）理想三鷹支店／0422-24-0567

「るま・ばぐーす」がサイトをリニューアル

フェアトレードショップ「るま・ばぐーす（岩佐園子代表）」は、2008年1月にサイトをリニューアルした。同店は自然素材の商品を扱っていることからアースカラーの色調でまとめ、カテゴリーもわかりやすくした。また、同店が発行しているニューズレターもPDFで見られる。

問）http://homepage3.nifty.com/~rumah/

2008年版多摩SOHOガイド4月下旬発売予定

SOHO事業者を紹介する多摩SOHOガイド（SOHOプロモーションズ発行）が2008年4月下旬に発売される。同ガイドは2003年に発行されて以来毎年発行されており、昨年は219件が掲載された。掲載には既に掲載されている人からの紹介が必要。今回の発行では、250件の掲載を目指している。

問）http://www.c-soho.com

実践的なLAMP技術者育成講座が三鷹で開講

本講座（（株）まちづくり三鷹主催）は、LAMP(Linux,Apache,MySQL,PHP)環境の構築を取り扱い、それをベースとしてLAMP環境におけるwebアプリケーションの開発技術者を育成する。2008年2月2日から「PHP5による開発技術講座」を毎週土・日曜日に実施中。

同講座は、総務省の平成19年度の情報通信人材研修事業にも採択されている。

問）（株）まちづくり三鷹／0422-40-9669
http://www.mitaka.ne.jp/jinzai/lamp.html

ビジネス・サロン
れおぐら
インターネット、カラー複合機など設備も充実。
ちょっとした文房具などもご用意しております。
三鷹駅南口徒歩4分。SOHOに最適！
0422-40-2773 www.reogra.jp/

LLP
SOHOプロモーションズ
SOHOの
SOHOによる
SOHOのためのPRサービス
2008年春、始動！
coming soon

企業と直接つなげられる、
信頼性の高いＳＯＨＯだけを
掲載しています。
企画／デザイン／写真／イラスト
Ｗｅｂ制作／講師／アドバイザー
システム／プログラム／ライター
編集／オペレーター／音楽／映像
アート／翻訳／通訳／法律／税務
会計／保険／建築／設計／パース など
http://www.so-so.co.jp/
企業とSOHOの道づくり
SOHOプロダクション 広島
有限会社 SOHO総研（ソーホーソウケン）
〒733-0002 広島市西区楠木町1丁目13-16　TEL 082-532-5662

全国のSOHO団体プロフィール!

第1回：三鷹SOHO倶楽部

― まず、三鷹ＳＯＨＯ倶楽部ができた経緯は？

97年8月に、三鷹市ＳＯＨＯパイロットオフィスの検討チームが発足したんですよ。チームが解散して「せっかくだから倶楽部のような集まりを続けて、ＳＯＨＯの受け皿にもなれるといいね」という話をビール飲みながらしていたの。

名前は、みんなで考えて投票したんですよ。電脳トキワ荘とかもあったけど一番平凡な名前に決まって、ちょっとがっかり（笑）

― ランチョンミーティングやSOHOサロンなど自主活動が始まったのは？

2001年頃にいったん中だるみしたんですよ。で、ランチならみんな来るかなと思って、ランチョンミーティングを始めたの。そこから新しいメンバーが増えて、またいろいろ動き出すんだよね。ＳＯＨＯガイドを出して、各地のＳＯＨＯ団体と交流も増えて、ＳＯＨＯ施設も作っちゃった。

― ＳＯＨＯ倶楽部の運営は？

ＳＯＨＯ倶楽部は、全体で動くんじゃなくて、この指とまれ方式なんですよ。普通は組織を作って役割分担すると思うんだけど、それに縛られるちゃうのは本末転倒かなと思った。これからも必要に応じて、やりやすい形をとりたいな。傍から見ると分かり難いと思うけど（笑）

SOHO団体のDATA
【名称】三鷹SOHO倶楽部
【代表】河瀬謙一／（有）ビッツアンドカンパニー代表取締役
【人数】約30人
【連絡】0422-50-0230
【URL】http://www.msoho.net/

SOHO紹介バトン

森下琴美さん、永澤のり子さん（有）そーほっと

森下さんはすごいんですよ。何がすごいって、パート仲間で会社を作っちゃうんだもの。最近では、福祉作業所の人達とキウイが入ったお菓子を作っちゃった。永澤さんが試行錯誤して頑張ったんだけど、これもすごい。作った分はほとんど完売。企業でも研究や開発をするけど、いったいどれだけ商品化されるのか、どれだけ売れてるのか考えれば、SOHOで実現しちゃったのは本当にすごい。これからも是非頑張ってください。

URL：http://www.m-sohot.com/
Tel: 0422-70-3705
E-mail: info@m-sohot.com

紹介者：前田隆正さん（SOHO CITY みたか推進協議会会長）

連載コラム 〜身の丈企業のススメ(1)

前田隆正氏（SOHO CITY みたか推進協議会会長）

三鷹市は、1988年ころから約10年間に市内の100工場が市外に転出、工場出荷額で約1000億円、雇用で約4000人を失いました。市は、1998年それを取り戻す経済政策として、全国の自治体に先駆けてSOHO都市宣言をし、SOHO CITYみたか推進協議会を設立、それ以来SOHOによるまちづくりを推進しています。

現在、三鷹市には8つのSOHOオフィスがあり、そこに合計115のSOHOブースがあります。それらは満杯でそこに入居しているそれぞれのSOHO事業者は生き生きと事業を進めています。そして、これらのブースから巣立ったSOHOを含めると8つのSOHOオフィスからは150のSOHO事業者が生まれました。また、4年前に開設したSOHOベンチャーカレッジの卒業生は159名になりました。この卒業生から約50のSOHO事業者が生まれています。その結果、推進協議会から巣立ったSOHO事業者は合計約200社ということになります。

団塊の世代といわれる700万人とか800万人の方が、これから定年を迎えられます。これらの人たちに、資金を使わずに収入を確保し、必ず黒字で事業を継続でき、定年のないSOHOによる「身の丈起業」をお勧めしたい。

旅行・出張・帰省には小田急ハイウェイバスが安くて便利!

- 新宿－秋田……フローラEx号・フローラ号
- 新宿－美濃・関・岐阜……パピヨン号
- 新宿－津山・岡山・倉敷・児島…ルミナス号 女性専用車も!
- 新宿－福山・尾道・三原……エトワールセト号 学割あり!
- 新宿－高知……ブルーメッツ号
- 東京－三次・広島……ニューブリーズ号
- 新宿－中村・宿毛……しまんとエクスプレス号 季節運行

小田急バス高速予約センター
03-5438-8511（10:00〜19:00年中無休）
インターネット予約も可能
http://www.odakyubus.co.jp/